

クオリティインディケーター（QI）成果報告

【褥瘡管理室】

指標名

褥瘡推定発生率

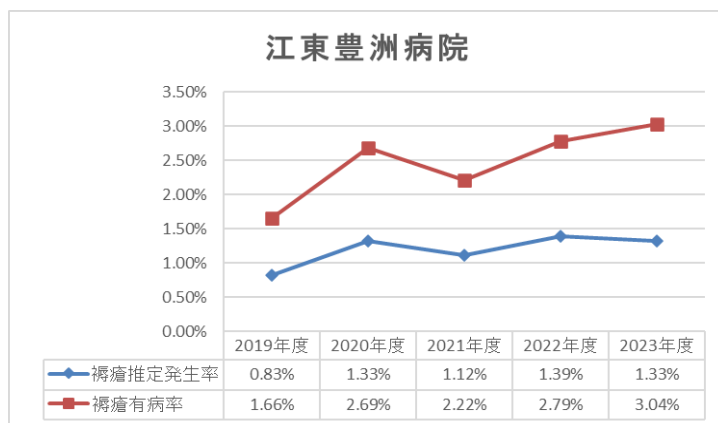
目標：ゴール

褥瘡推定発生率 0.94% 以下

目標：ゴール達成による効果

褥瘡は疼痛やADLの低下、感染の要因となり患者のQOL低下だけでなく、在院日数の長期化や医療費拡大に繋がる。このため、予防対策を提供し褥瘡の発生を予防していくことで、QOLの低下・在院日数の長期化・医療費の拡大を予防する効果がある。

目標：ゴールに対する成果の状況



目標：ゴール達成度

- ☐ S : 大幅な目標を上回った
- ☐ A⁺ : 目標を多少上回って達成
- ☐ A : 目標を達成
- ☐ B⁺ : 目標を少し下回った
- ☒ B : 目標を下回った
- ☐ C : 目標を大幅に下回った
- ☐ - : 外的要因より継続困難となった

目標：ゴールの課題・改善策

除圧や摩擦とずれの軽減が不足しており、自立度が低い患者の仙骨部、臀部、踵部を中心に褥瘡が発生したことで褥瘡推定発生率が目標に届かなかった。今年度は、自立度が低い患者（自立度C）の仙骨部・踵部の除圧を中心に、尾骨部・臀部の摩擦とずれの解除にも取り組み新規褥瘡発生の低下を図る。

その他

推定発生率算出の定義

$$\text{※褥瘡推定発生率} = \frac{\text{調査日に褥瘡を保有する患者数} - \text{入院時既に褥瘡保有が記録されていた患者数}}{\text{調査日の施設入院患者数}} \times 100$$

☒調査日の施設入院患者数：調査日に入院または入院予定者は含まない。調査日に退院または退院予定者は含める。

□

※1名患者が褥瘡を複数部位有していても、患者数は1名として数える。

※入院時すでに褥瘡を保有していた患者であっても、新たに入院中に褥瘡が発生した場合は、院内褥瘡発生者として取り扱い、褥瘡推定発生率を算出する。